



かよくしよう



たりあおう



るい心でつながろう

No.2 2024年7月5日(金) 文責:校長:高橋・人権同和教育主任:澤本

～人権同和教育は一人ひとりが大事にされ、
人と人がつながる力を育てる教育です～
子どもたちが「つながる」ために



1 学校で

①自分の思いを伝える(話す、書く等)力をつけることを大切にします。

②なかまの思いを「聴く」力、想像する力を育てていきます。

③トラブルはチャンス!...けんかは親友のもとです。

けんか、なかまはずし、悪口、陰口等が起こった時にしっかり話しあう時間をとります。そして、なかまと自分の気持ちに向きあうことで、自分の気持ちに折りあいをつける力が生まれます。この経験を積み重ねる毎につながる力が少しずつ育っていくのだと思います。

④人の一面だけでなく、様々な面を見る力を育てていきます。

⑤つながることをあきらめない。

「敵」より「なかま」が多い方が幸せなことに気づかせていきましょう。

☆6～7月は校内人権月間です。それぞれの学年で「なかまづくり」の視点で人権学習に取り組んでいます。子どもたちがどんな学習をしているのか、そして、どんなことを考えたのかを知って頂くためにも学年・学級だより・人権だよりなどを読んで頂くとありがたいです。



☆今年度も「にこにこ班活動」をしていきます。1年生から6年生までを12班に分けて活動します。同学年だけでなく、たくさんの「なかま」と知りあって欲しいと思っています。朝自習の時間などに、にこにこ班での活動をしていきます。1班が17～18人で、担当の先生が1～2名つきます。このような異学年との交流の経験を大切にしたいと思っています。

2 家庭との連携

「一人ひとりの子どもたちが過ごしやすい」と思える環境をつくるというゴールをめざして、お互いに(保護者も学校も)意見や情報の交換をしましょう。遠慮されずに何でも知らせていただくとありがたいです。

3 地域との連携

地域社会で子どもを守り、育てましょう。

- ①気持ちのよいあいさつをお互いにしましょう。
- ②子育ての先輩に力を借りましょう。
- ③地域の皆さんに見守られていることへの感謝を、言葉や態度に表すことも大切です。その姿を見ると、子どもに安心感が生まれます。

4 みんなで学べる場を!

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす取組について学ぶ場を、子どもだけでなく、保護者や地域のおともも共有していけたらいいなと思います。同じ課題について他の人がどんな考えを持っているかを知ることが、自分を開き、広げることにつながります。

社会教育の分野でも、人権教育関係の研修会が、いろんな所で開催されていると思います。知らないことから予断と偏見が生まれます。子どもと共に学ぶおとなでありたいですね。

毎月11日は、
『人権を確かめあう日』
です。
(2002年～)

氷川町と八代市は、
『人権尊重都市宣言』
をしています。
(2006年～)

